

漢文句法「再読文字」確認テスト（未・将・当・須・宜・猶・盍） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾

組 番 氏名

/100点

本文

※例文は学習用です。

(書き下し) 未だ嘗て有らざるなり。

(書き下し) 花の落つること未だ多少を知らず。

(書き下し) 吾将に東して帰らんとす。

(書き下し) 日且に暮れんとす。

(書き下し) 事当に是くのごとくなるべきなり。

(書き下し) 罪人応に罰せらるべし。

(書き下し) 学者須らく志を立つべし。

(書き下し) 汝宜しく自ら勉むべし。

(書き下し) 過ちて改めざるは、是れ猶ほ過ち有るがごときなり。

(書き下し) 民の仁に帰するは、猶ほ水の下に就くがごときなり。

(書き下し) 子盍ぞ之を言はざる。

(書き下し) 君は由ほ父のごときなり。

- ① 未(いまダ)=嘗(ズ)有(ズ)=也。
- ② 春眠不(レ)覚(ズ)曉、夜來風雨、花落つること未(いまダ)知(ズ)=多少ヲ。
- ③ 吾将(まさニ)=東シテ而帰(ント)=矣(ズ)。
- ④ 日且(まさニ)=暮(レント)=矣(ズ)。
- ⑤ 事当(まさニ)=如(ル)是(ノ)=也(ベキ)。
- ⑥ 罪人応(まさニ)=罰(セラル)=矣(ベシ)。
- ⑦ 学者須(すべカラク)=立(ツ)志(ヲ)=也(ベシ)。
- ⑧ 汝宜(よろシク)=自(ラ)勉(ム)=矣(ベシ)。
- ⑨ 過(チ)テ而(レ)不(レ)改、是猶(ナホ)=有(ル)過(ノ)=也(ゴトシ)。
- ⑩ 子盍(なんゾ)=言(ハ)=之(ズ)。
- ⑪ 民之帰(ル)仁、猶(ナホ)=水(ノ)之就(ル)下(ノ)=也(ゴトシ)。
- ⑫ 君由(ナホ)=父(ノ)=也(ゴトシ)。

設問

1. ①の傍線部「未」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目 (副詞的な読み)
 - 二度目 (返って読む部分)

2. ②の例文「花落つること未だ多少を知らず」を、すべてひらがなを用いず適宜漢字仮名交じりの書き下し文に直せ。
3. ③の傍線部「将」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
4. ③「吾将に東して帰らんとす」を現代語訳せよ。
5. ④の傍線部「且」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
6. ⑤の傍線部「当」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
7. ⑥の傍線部「応」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
8. ⑦の傍線部「須」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
9. ⑦の例文「学者須_レ立_レ志」を書き下し文に直せ。
10. ⑦「学者須らく志を立つべし」を現代語訳せよ。
11. ⑧の傍線部「宜」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
12. ⑨の傍線部「猶」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
13. ⑨「是れ猶ほ過ち有るがごときなり」を現代語訳せよ。
14. ⑩の傍線部「盍」について、再読文字としての読み方を答えよ。
 - 一度目
 - 二度目
15. ⑩の例文「子盍_レ言_レ之」を書き下し文に直せ。
16. ⑩「子盍ぞ之を言はざる」を現代語訳せよ。
17. 「未」の表す意味として最も適当なものを次から選べ。
 - ア～しようとする　イまだ～ない　ウ～すべきだ　エちょうど～のようだ

18. 「将（且）」の表す意味として最も適当なものを次から選べ。

- ア まだ～ない イ ちょうど～のようだ ウ（今にも）～しようとする エ ～したほうがよい

19. 「当（応）」と「須」と「宜」は、いずれも下に「べし」を伴う再読文字である。この三つの意味のちがいを、それぞれ簡潔に説明せよ。

20. 「猶（由）」の表す意味として最も適当なものを次から選べ。

- ア 義務・必要 イ 当然 ウ 打消 エ あたかも～と同じだ（比況）

21. 「盍」は、ある二つの語が一字に縮まってできた再読文字である。もとの二字（漢字）を答え、あわせて「盍」が表す意味（どのような気持ちを述べる言い方か）を説明せよ。

22. 次の文を読んで、後の問いに答えよ。

「学者須_レ立_レ志、且不_レ可_レ怠。」（学ぶ者は志を立てるべきであり、なまけてはならない。）

- この文の「須」は再読文字だが、同じ文中の「且」は再読文字として用いられているか。用いられていないとすれば、ここではどのような意味・読みで使われているか説明せよ。